



PRESS RELEASE

2022年6月27日

アッヴィ、地域社会に貢献する Week of Possibilities 2022 スタート

- 世界中の社員が、ボランティアを通じて地域社会に貢献するという共通の目的を持ち、NPO 法人と連携して地域社会のニーズに基づく活動を実施
- 6月27日から7月1日まで、世界50カ国以上の社員が参加
- 日本においては400人超の社員が、子どもたちへの科学教育、社会福祉および環境保護活動を通じて地域社会に貢献

アッヴィ合同会社(本社:東京都港区、社長:ジェームス・フェリシアーノ)は、全世界で展開するボランティア・ウィーク Week of Possibilities 2022 が本日、スタートしたことをお知らせします。

Week of Possibilities は、米国本社が2014年に開始したボランティア・ウィークで、日本では2015年に認定特定非営利活動法人「ハンズオン東京」と連携し開催した児童養護施設での科学教室が始まりです。今年は全世界で3年ぶりに対面による活動を実施します。

社長のジェームス・フェリシアーノは次のように述べています。「医療分野にとどまることなく地域社会や環境保護にも貢献していくことが、アッヴィの約束の一つです。Week of Possibilities は企業文化を具現化する活動の一つであり、社員が住み・働く地域社会にボランティア活動を通じて恩返しをするとともに、人々や社会がもつ豊かな可能性の実現につながる取り組みです」

【活動内容】

- ・児童養護施設における科学教室の開催と清掃活動 東京・大阪 6カ所
- ・公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウスにおける食事の支度と清掃活動 全国 10カ所
- ・社会福祉法人日本介助犬協会が運営する介助犬総合訓練センターでの清掃活動 愛知 1カ所
- ・就労支援施設における福祉作業の支援 東京 1カ所
- ・アプリで車いす利用者のバリアフリーマップ作成 オンライン
- ・屋外清掃・環境保全活動 全国 9カ所

アッヴィについて

アッヴィのミッションは現在の深刻な健康課題を解決する革新的な医薬品の創製と提供、そして未来に向けて医療上の困難な課題に挑むことです。患者さん一人ひとりの人生を豊かなものにするため次の主要領域に取り組んでいます。免疫疾患、がん、神経疾患、アイケア、ウイルス、ウイメンズヘルス、消化器疾患、さらにアラガンエステティクスポートフォリオの製品・サービスです。アッヴィ



の詳細については、www.abbvie.com をご覧ください。Twitter アカウント [@abbvie](https://twitter.com/abbvie)、[Facebook](https://www.facebook.com/abbvie)、[LinkedIn](https://www.linkedin.com/company/abbvie) や [Instagram](https://www.instagram.com/abbvie) でも情報を公開しています。

日本においては、1,400 人を超える社員が、医療用医薬品の開発、輸入、製造販売に従事しています。免疫疾患、肝疾患、神経疾患、がんの各領域を中心に、患者さんの人生を豊かにしたいと願い、日々の業務に取り組んでいます。詳しくは、www.abbvie.co.jp をご覧ください。